

長野県

新客観点数加内容改正

合併を評価項目に

長野県は21日、第18回「長野県公共工事入札等検討委員会」を開催した。審議事項は、受注希望型競争入札、総合評価方式の実施状況と「新客観点数の加内容の見直しの方針」。

総合評価方式の試行状況は、失格基準

業務委託の総合評価方式は、失格基準

建設工事で84.2%、06年度の81.3%を上回った。07年4月からの失格基準改定の影響が出ている。委託業務の07年度平均落札率は72.2%、06年度は67.7%。昨年7月から失格基準価格を改定した。

新客観点数は、同県独自の制度。客観点数と新客観点数(県内業者のみ)を合計して資格総合点数とするもの。今回の改正方針では、新客観点数の比率(経審の総合数値の25%)は変更しないが、合併への優遇評価を新設したほか、災害協定等の評価で道路除雪を自社保有で行う場合の加点を設けた。地域貢献では、「過去2年間におけるボランティア等の地域貢献活動実施」(5点)を、入札方式の柱である「消防団協力事業所表示制度の登録企業」(10点)型競争入札に一本化した。

新客観点数の加内容の主な改正点は次の通り。

▽工事成績および表彰等の加点を「土木一式」「とび土工コンクリート」「ほ装」の3業種のみを対象に▽指名停止で、最大15点までの減点に▽ISO認証取得等で、エコアクション21に加え「地域版環境プログラム」(南信州いいむす21等)を対象に▽基準日直前5年間において県建設工事入札参加資格を有する建設企業と合併が行われた場合50点を加点(営業譲渡は除く。合併特例が行われている期間は加点しない)

▽災害協定では、道路除雪を自社保有機械で行う場合は、受託年数により20～30点を加点(期間中に1年でも道路除雪を貸与機械で行う場合や融雪剤散布除雪のみ受託の場合は加点から各10点減点)▽地域貢献は、基準日における消防団協力事業所表示制度の登録企業(10点)に一本化▽災害協定は、新経営事項審査で加点が上がっていたため、新客観点数から除

工事成績等簡易型

区分	開札 済み	平均 落札率 (%)	逆転 件数	逆転 件数率 (%)	平均 落札額 (円)
04～06年度	284	79.69	109	38.38	3,318万1,472
07年度	482	83.81	205	42.53	3,682万3,903
差		4.12		4.15	

技術者実績等簡易型

区分	開札 済み	平均 落札率 (%)	逆転 件数	逆転 件数率 (%)	平均 落札額 (円)
06年度	33	65.54	13	39.39	308万3,770
07年度	115	71.99	43	37.39	478万1,739

は07年度開札済み115件の平均落札率71.99%で、06年度の65.54%を上回った。逆転件数は43件で、逆転件数率は37.39%だった。入札方式の柱である「消防団協力事業所表示制度の登録企業」(10点)型競争入札に一本化した。新客観点数の加内容の主な改正点は次の通り。

▽工事成績および表彰等の加点を「土木一式」「とび土工コンクリート」「ほ装」の3業種のみを対象に▽指名停止で、最大15点までの減点に▽ISO認証取得等で、エコアクション21に加え「地域版環境プログラム」(南信州いいむす21等)を対象に▽基準日直前5年間において県建設工事入札参加資格を有する建設企業と合併が行われた場合50点を加点(営業譲渡は除く。合併特例が行われている期間は加点しない)

▽災害協定では、道路除雪を自社保有機械で行う場合は、受託年数により20～30点を加点(期間中に1年でも道路除雪を貸与機械で行う場合や融雪剤散布除雪のみ受託の場合は加点から各10点減点)▽地域貢献は、基準日における消防団協力事業所表示制度の登録企業(10点)に一本化▽災害協定は、新経営事項審査で加点が上がっていたため、新客観点数から除